

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	3132545000	開講キャンパス	泉
授業開講年度	2019年度		
科目コード	5102129919	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読 A		
科目英字名称	Reading of Original Texts A		
単位数	1.0		
履修期	前期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	1411238	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	信太 光郎		
テーマ	アーサー・C・ダントーの『芸術とは何か』を原著（英語）で精読する。		
講義内容	現代の哲学者のアーサー・C・ダントーの『芸術とは何か』を英語で読み、翻訳し、解釈する。読解作業を通じて、とりわけ二〇世紀以降の現代芸術が問いかける問題を整理しつつ、古来の人間の芸術という営みの意味を考える。		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を読んで、訳すことができる。 ・ 著者の主張を的確に把握し、要約できる。 ・ 芸術についての哲学的考察ができる。 		
授業計画 第1回	【事前学修】 二〇世紀の現代芸術の運動について文献等で調べておく。 【授業内容】 なぜ芸術は哲学の問題になるのか。 【事後学修】 芸術を巡る哲学的議論の歴史を調べる。		
授業計画 第2回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 preface(1)―芸術の問題とは 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第3回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 preface(2)―芸術の歴史 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第4回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 preface(3)―哲学と芸術論 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第5回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 Wakeful Dreams(1)―芸術とは何か 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第6回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 Wakeful Dreams(2)―芸術の発生 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第7回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 Wakeful Dreams(3)―芸術の発達 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第8回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 Wakeful Dreams(4)―芸術の展開 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第9回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 Wakeful Dreams(5)―芸術の現在 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		
授業計画 第10回	【事前学修】 下読みしてくる。 【授業内容】 Wakeful Dreams(6)―現代芸術とは 【事後学修】 授業で読んだ範囲の訳文を作成する。		

授業計画 第11回	【事前学修】下読みしてくる。 【授業内容】Wakeful Dreams(7)—20世紀の芸術運動 【事後学修】授業で読んだ範囲の訳文を作成する。
授業計画 第12回	【事前学修】下読みしてくる。 【授業内容】Wakeful Dreams(8)—抽象芸術 【事後学修】授業で読んだ範囲の訳文を作成する。
授業計画 第13回	【事前学修】下読みしてくる。 【授業内容】Wakeful Dreams(9)—キュビズム 【事後学修】授業で読んだ範囲の訳文を作成する。
授業計画 第14回	【事前学修】下読みしてくる。 【授業内容】Wakeful Dreams(10)—野獣派 【事後学修】授業で読んだ範囲の訳文を作成する。
授業計画 第15回	【事前学修】下読みしてくる。 【授業内容】Wakeful Dreams(11)—反芸術としての芸術 【事後学修】授業で読んだ範囲の訳文を作成する。
授業計画 第16回	
授業計画 第17回	
授業計画 第18回	
授業計画 第19回	
授業計画 第20回	
授業計画 第21回	
授業計画 第22回	
授業計画 第23回	
授業計画 第24回	
授業計画 第25回	
授業計画 第26回	
授業計画 第27回	
授業計画 第28回	
授業計画 第29回	
授業計画 第30回	
成績評価方法	* 授業への参加 (40%) : 訳読の精度 (20) 、情報の下調べ (10) 、議論への参加 (10) 授業後の課題 (30%) : 提出 (10) 、訳文の精度 (20) 期末の課題 (30%) : 提出 (10) 、訳文の精度 (20)
学修に必要な準備	* 毎回わからない単語は辞書をひいて調べてくること。文章に出てきた作品、作家について調べてくること。
関連して受講することが望ましい科目	* 特になし
テキスト	* Arther C. Danto "What art is", Yale University Press, 2013, ISBN 978-0-300-20571-8

参考文献	*特になし		
履修上の注意	* オフィス・アワー等については開講時に指示する		
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	*		
添付ファイル1		説明1	
添付ファイル2		説明2	
添付ファイル3		説明3	
添付ファイル4		説明4	
添付ファイル5		説明5	
関連URL1			
関連URL2			
関連URL3			

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2019年度	前期授業	木曜 2校時	前期授業	泉) 3 1 E 講義室

カリキュラム情報

項番	学生区分	所属区分	学部	学科	専攻・コース	適用入学年度
1	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2011年度～2011年度
2	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2012年度～2012年度
3	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2013年度～2014年度
4	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2016年度
5	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2100年度
6	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2017年度～2100年度
7	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2011年度～2011年度
8	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2012年度～2012年度
9	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2013年度～2014年度
10	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2016年度
11	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～
12	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2017年度～2100年度
13	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2011年度～2011年度
14	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2012年度～2012年度
15	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2013年度～2014年度
16	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2016年度
17	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～
18	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2017年度～2100年度
19	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2011年度～2011年度
20	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2012年度～2012年度
21	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2013年度～2014年度
22	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2016年度
23	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～
24	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2017年度～2100年度
25	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2011年度～2011年度
26	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2012年度～2012年度
27	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2013年度～2014年度
28	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～2016年度

29	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～
30	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2017年度～2100年度

[戻る\(X\)](#)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.